

## SDGs 達成に向けた取組み

### 第 1 回かわしん感謝祭開催



#### 目的・背景

新型コロナウイルス感染拡大の長期化により、令和 2 年度以降、当金庫主催イベントの大半や年金受給者向け親睦旅行については止む無く中止としており、本業以外で地域住民との「ふれあい」の機会が減少していました。

そのような中、令和 5 年度に入り、ウィズ・アフターコロナに移行している段階でこれまでのイベント等の見直しを行いました。地域住民とのふれあい機会創出、地元事業者の本業支援、地場産業の活性化、学生を対象とした金融リテラシー向上を図るとともに、親睦旅行に代わる新しいイベント（講演会）を企画し、幅広い年代層に楽しんでいただける「かわしん感謝祭」を開催する運びとなりました。

なお、本イベントは金融教室で市内中学生を対象としていることから、四国中央市が後援となりました。

#### 具体的な取組内容

- 書道家：青柳美扇氏による書道パフォーマンス（オープニングセレモニー）
- 飲食・雑貨マルシェ（室内ブース 14 店、キッチンカー 6 台）、露店（当金庫）  
※出店は全て地元事業者としました。
- 金封・水引関連商品販売（伊予水引金封協同組合）  
※当初、水引制作体験ワークショップも予定していましたが、講師の都合により中止となりました。
- 海洋ゴミ（シーグラス）を活用したハンドメイドグッズの制作・販売（㈱四国中央テレビ）
- 金融教室（講師：愛媛大学紙産業イノベーションセンター 内村浩美 栄誉教授）  
※対象は市内中学生（28 名）としていましたが、当日大人の飛び入り参加もあり、受講者数は計 31 名となりました。参加者には金融に関する冊子（日本銀行より無償提供）等を進呈。
- 落語家：瀧川鯉斗独演会（当金庫年金受給者限定）

- 令和 4 年 8 月 29 日 初回ミーティングを行い、イベントの方針検討  
令和 4 年 9 月 8 日 開催日時及び会場、方針決定  
各ブースにおける担当配置  
令和 4 年 9 月 16 日 全体の方針検討及び各担当ブースに関する調査  
事項報告  
令和 4 年 10 月 6 日 マルシェ参加事業者へ出店依頼  
令和 4 年 10 月 13 日 年金受給者向け講演会講師決定（落語家：瀧川鯉斗）

- 令和 4 年 10 月 24 日 本イベント入場条件設定  
ワークショップ及び雑貨販売事業者検討  
令和 4 年 11 月 9 日 中学生向け金融教室講師依頼  
（愛媛大学紙産業イノベーションセンター 内村浩美 栄誉教授）  
令和 4 年 11 月 28 日 イベント会場となる「しこちゅ〜ホール」下見  
講演会講師派遣企業との打ち合わせ  
令和 4 年 12 月 27 日 イベント入口看板製作依頼  
令和 5 年 1 月 10 日 金融教室詳細決定  
オープニングセレモニーにおける書道パフォーマンスの依頼（書道家：青柳美扇）  
令和 5 年 2 月 21 日 四国中央市役所へ各種案内依頼  
（市内中学校への案内文書発送依頼、市報への掲載）  
保健所への申請手続き  
消防署への申請手続き  
当金庫出展ブースの実施内容検討  
「しこちゅ〜ホール」との打ち合わせ  
開催内容等に関して最終確認、調整  
職員担当割の作成、説明会の実施  
令和 5 年 4 月 21 日 必要物資の搬入  
令和 5 年 5 月 19 日 かわしん感謝祭開催  
令和 5 年 5 月 20 日

#### 成果

イベント当日は 1,000 名を超える来場があり、大盛況となりました。書道パフォーマンスの魅力発信、飲食・雑貨関連事業者の認知度向上及び売上への貢献、地場産業（伊予水引・金封）の支援、自然環境に関する意識の醸成、学生（一部大人含む）の金融リテラシーの向上等、本イベントを通じて地域活性化に貢献できたことが成果といえます。

#### 担当者の思い

以前までは SDGs に取り組むことは特別なことのような印象でしたが、現在は SDGs への取組みは当たり前のように変化しているように感じます。誰もが住みやすい環境を作るためには、SDGs への取組みは必須であり、もう一歩進んだ取組みが求められていると感じます。将来のためにも意識を高め、SDGs への取組みに尽力していきたいと思えます。

〈地域産業創生部 一般職 熊野 小都〉

